

新日本语能力考试

N2全真模拟试题

解析版



8回完整全真模拟 究实基础 挑战高分

主编○许小明 Reika
编著○新世界图书事业部



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

新日本语能力考试

N2全真模拟试题

解析版



8回完整全真模拟 夯实基础 挑战高分

主编○许小明 Reika
编著○新世界图书事业部

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试 N2 全真模拟试题(解析版·含 MP3 光盘)/许小明,(日)Reika 主编.

— 上海:华东理工大学出版社,2011.4

ISBN 978 - 7 - 5628 - 3024 - 5

I. 新... II. ①许... ②Reika... III. 日语-水平考试-习题集 IV. H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 058756 号

新日本语能力考试 N2 全真模拟试题 (解析版·含 MP3 光盘)

主 编 许小明 Reika

编 著 新世界图书事业部

项目负责 / 陈 勤 王娟

责任编辑 / 王 娟

责任校对 / 金慧娟

封面设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社

地 址: 上海市梅陇路 130 号,200237

电 话: (021)64250306(营销部)

(021)64252717(编辑室)

传 真: (021)64252707

网 址: press.ecust.edu.cn

印 刷 / 上海展强印刷有限公司

开 本 / 787mm×1092mm 1/16

印 张 / 24

字 数 / 663 千字

版 次 / 2011 年 4 月第 1 版

印 次 / 2011 年 4 月第 1 次

印 数 / 1—8000 册

书 号 / ISBN 978 - 7 - 5628 - 3024 - 5/H · 1096

定 价 / 42.00 元(含 MP3 光盘)

(本书如有印装质量问题,请到出版社营销部调换。)

前　　言

由独立行政法人日本国际交流基金会和财团法人日本国际教育支援协会共同组织的日本语能力考试,从1984年到2009年,已经在日本海外实施了26年,是目前国内最具权威的日语考试之一。2010年7月起,在全球各考点实施了全新形式的日本语能力考试。

新世界图书事业部根据独立行政法人日本国际基金交流会、财团法人日本国际教育支援协会编著的《新日本语能力考试指南 概要及问题集 N1、N2、N3》(『新しい「日本語能力試験』ガイドブック概要版と問題例集 N1、N2、N3』 凡人社),对新日本语能力考试进行了认真全面地研究与总结,于2010年5月编写了《新日本语能力考试 N2 全真模拟试题》,为广大日语学习爱好者以及正在为N2备考的考生提供了极为实用的参考资料。

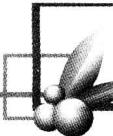
本书对《新日本语能力考试 N2 全真模拟试题》(2010年5月出版)的每一回进行了完整的解析,帮助考生查缺补漏,理解做错题的原因。希望各位考生在完成本书的8回模拟试题后,在综合能力上有一个质的飞跃。

【本书内容与特点】

全真模拟练习及解析

- 模拟练习8回
 - ① 完全遵循新能力考试的题型结构出题。
 - ② 出题角度及难易度贴近全真试题。
 - ③ 阅读文章选自日本原版教材、小说、散文、媒体评论等名家名篇。
 - ④ 听力内容涉及演讲、朋友间的对话等,考生通过反复练习可增强语感。
- 解析透彻,指导解题对策。
 - ① 掌握做题方法,巩固所学知识点。
 - ② 补充考查词汇的相关短语,提高词汇量。
 - ③ 读解部分附中文概要,概括文章大意,帮助考生理解文章内容。
 - ④ 附有听力原文和译文,帮助考生理解疑难点。

新世界日语 许小明
2011年3月



目 次

第1回	1
解答・解説	24
第2回	41
解答・解説	63
第3回	80
解答・解説	101
第4回	117
解答・解説	139
第5回	156
解答・解説	177
第6回	194
解答・解説	215
第7回	231
解答・解説	252
第8回	269
解答・解説	290
聴解スクリプト	307



第1回

言語知識(文字・語彙)

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1 街灯の光に照らされた桜の花が風に揺らいでいる。

- 1 つらされた 2 ならされた 3 てらされた 4 へらされた

2 陰で他人の悪口を言うべきではない。

- 1 あくくち 2 わるこう 3 あっこう 4 わるくち

3 隣の犬がしょっちゅう吠えて、うるさくてたまらない。

- 1 ほえて 2 ささて 3 きえて 4 かかえて

4 木村さんは自宅で生花の教室を開いている。

- 1 せいか 2 いけばな 3 いきはな 4 しょうか

5 住宅街の垣根にはツツジの花が咲き乱れている。

- 1 おんこん 2 かきね 3 おんもと 4 かきもと

問題2 _____の言葉を漢字で書くとき、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

6 ご依頼の件についてはしょうちしております。

- 1 承致 2 召致 3 承知 4 召知

7 先週買ったばかりのパソコンがこしようして修理に出した。

- 1 故障 2 古障 3 故彰 4 古彰

8 月1回大掃除をして、不要なものをする。

- 1 払てる 2 投てる 3 捨てる 4 抛てる

9 加湿器を使って部屋の湿度をかげんする。

- 1 可限 2 加限 3 可減 4 加減

10 108回の鐘のひびきで、古い年を送り新年を迎える。

- 1 震き 2 敲き 3 振き 4 韶き

問題3 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

11 中学生のころ、親と大げんかした勢いで家を飛び()ことがある。

- 1 はなした 2 だした 3 まわした 4 さった

12 今日のラーメンは、ちょっと塩()味がする。

- 1 辛い 2 濃い 3 苦い 4 粗い

13 ご予約をお取り()の場合、事前にご連絡ください。

- 1 かえ 2 あげ 3 けし 4 かけ

14 田中さん、午後の会議の資料、10()コピーしておいてください。

- 1 部 2 本 3 冊 4 通

15 この文章にはなんとなく()感を覚える。

- 1 不和 2 無和 3 違和 4 非和

問題4 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

16 卒業したら、出版()の仕事につきたいと思っている。

- 1 相関 2 関係 3 連携 4 連結

17 よく(), メモをしながら話を聞くと好感を持たれる。

- 1 うなずいて 2 うながして 3 おいついて 4 つながって

18 大切なものを守る()ができたとき、人は強くなれるものだ。

- 1 感情 2 覚悟 3 準備 4 思想

19 外国では泣いている赤ちゃんをしばらく()おくのが一般的だそうだ。

- 1 なげて 2 ねさせて 3 ほうって 4 いだいて

20 仕事に優先順位をつけて()にやっていくことが大事だ。

- 1 順調 2 順番 3 順序 4 秩序

21 外国語を習得するためには、まずたくさんの単語を()する必要がある。

- 1 マスター 2 マスク 3 マフラー 4 マウス



22 人間はしょせん欲の()で、自己中心的なものである。

- 1 あつまり 2 かみなり 3 かたまり 4 つながり

問題5 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

23 時間がないので、細かいところはりやくして説明します。

- 1 あつめて 2 そろえて 3 なかせて 4 はぶいて

24 誤解しないで、香織さんとは単なる友達なんだから。

- 1 唯一の 2 ただの 3 大切な 4 珍しい

25 電車の中で、夫婦げんかしないでください。みっともないから。

- 1 なまいきだ 2 あわれだ 3 かなしい 4 はずかしい

26 人が前に立つと、ドアがひとりでに開く。

- 1 自然に 2 突然 3 偶然 4 必然に

27 学費はカードで支払ってください。

- 1 手数料 2 送料 3 送金 4 授業料

問題6 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

28 多少

- 1 現金で支払えば、多少お安くいたします。
 2 バーゲンセールで、人々は多少売り場に押しかけた。
 3 何をするにも、多少必要なのはお金だろう。
 4 2週間前より、英語が多少上手になったのでびっくりした。

29 伝言

- 1 あの人はまだ生きているという伝言が流れている。
 2 あの連中はいつも人の伝言を言っている。
 3 ご家族によろしくと伝言を頼まれた。
 4 彼は食事の伝言をしょっちゅう言っている。

30 干す

- 1 ゲームに夢中になって、料理が干してしまった。
 2 雨が降っていたので、洗濯物を部屋の中に干した。



- 3 ご飯が冷めてきたので、電子レンジで干した。
- 4 雨が降っていなかつたため、川が干してしまった。

31 やっと

- 1 毎日練習して、やっとできるようになった。
- 2 ずっと楽しみにしていた旅行はやっと明日出発だ。
- 3 かわいがっていた犬が病気でやっと死んでしまった。
- 4 けんかしたあげく、やっと別れてしまった。

32 いちいち

- 1 難しいところをいちいち説明してもらう。
- 2 受験生いちいちが質問を受ける。
- 3 みんなの意見がいちいちでまとまらない。
- 4 子どもたちはいちいち部屋を持っている。



言語知識(文法)

問題7 次の文の_____に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

33 未成年者の飲酒は、法律_____、禁じられている。

- 1 にとって 2 によって 3 について 4 にむけて

34 失敗_____、新しい発明が生まれることもある。

- 1 をこめて 2 を通じて 3 をはじめ 4 をもとに

35 彼女はケーキ作りがとても上手なのだが、甘いものが好きなのか_____、そうでもない。

- 1 とすれば 2 といえば 3 のようで 4 のらしく

36 一年間、勉強に励んだ_____、念願の大学に合格した。

- | | |
|-----------|---------|
| 1 かいがあって | 2 からみると |
| 3 ほどでなくとも | 4 かぎりでは |

37 この曲を聞く_____、ふるさとのことを思い出す。

- 1 うちに 2 あいだに 3 たびに 4 ところに

38 映画の上映_____、試写会が行われた。

- 1 にこたえて 2 にしたがって 3 にわたって 4 にさきだって

39 いくら努力しても上達しない_____、あきらめるしかないだろう。

- 1 ようなら 2 一方では 3 あまりに 4 以上は

40 上司にほめられて、うれしくない_____でしょう。

- | | |
|------------|------------|
| 1 わけではない | 2 わけにはいかない |
| 3 わけにもいかない | 4 わけがない |

41 それまでできなかつたことができる_____なるには、時間と努力が必要だ。

- 1 ために 2 ように 3 くせに 4 ばかりに

42 この仕事は誰_____、慣れるまでは大変なんだから、あきらめずに頑張りなさい。

- 1 だって 2 さえ 3 よりも 4 きり

43 経済大国になったからといって、すべての国民が豊かになった_____。

- 1 はずではない
3 ものではない

- 2 ことではない
4 わけではない

44 月の光もない夜、一人で墓地を通るときの怖さ_____。

- 1 といえばない
3 といえない
- 2 というならない
4 といったらない

問題8 次の文の ★に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(問題例)

あそこで _____ ★ _____ は山田さんです。
1 テレビ 2 見ている 3 を 4 人

(解答の仕方)

1. 正しい文はこうです。

あそこで _____ ★ _____ は山田さんです。
1 テレビ 3 を 2 見ている 4 人

2. ★に入る番号を解答用紙にマークします。

(解答用紙) (例) ① ● ③ ④

45 かりに電車やバスに _____ ★ _____ 時間がかかるだろう。

- 1 としたら
3 かなり
- 2 乗らずに
4 旅行しよう

46 彼の話が _____ ★ _____ 笑ってしまった。

- 1 おもしろくて
3 涙が
- 2 出るほど
4 あまりにも

47 これからの野球レポーターは _____ ★ _____ そうだ。

- 1 刺繡した
3 プロ選手みたいに
- 2 スーツを着て
4 報道する



48 あの人は _____ ★ _____ 言っている。

- | | |
|----------|----------|
| 1 よく | 2 ないくせに |
| 3 大きなことを | 4 大したお金も |

49 最近銀行カードが偽造され、_____ ★ _____ 被害
が増えている。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 引き出される | 2 知らないうちに |
| 3 本人も | 4 お金が |

問題9 次の文章を読んで、**50**から**54**の中に入る最もよいものを1・2・3・4から
一つ選びなさい。

日本人ほど何かといえば贈り物をしている民族はいないようで、外国人**50**大
変不思議に思うらしい。

まず贈り物の名前からして、送る季節や機会**51**違っている。暮れの贈り物は「お歳暮」で、お正月**52**贈り物は、子供に与えられるのは「お年玉」、大人に贈るものは「お年賀」になる。そして夏の初めに贈るのが「お中元」である。旅行から帰ってきて、待っている留守番の人への贈り物は「お土産」で、別れて遠くに行く人への贈り物は、以前は「はなむけ」、現代では「お饅頭」である。しかし、これらは欧米ではみな「プレゼント」でひとくくりにされるだろう。(中略)

なぜ日本語にはこのように贈り物**53**言葉がたくさんあるのだろう。日本人は、社交の上で贈答する関係を重んじる。物を与える動詞でも、手前からよそへ行くのは「あげる」「やる」と言い、よそから手前の方に来るのは「くれる」「くださる」と言って区別する。英語のgiveにはそんな区別はない。

ただしA君とBさんとがやりとりをしているのは、「A君がBさんにお菓子をあげた」「BさんはA君に果物をあげた」と言って区別しない。「A君は私に果物をくれた」と言って自分のところに物が来たときに**54**、言い方を違えるのである。これは日本人は他人からもらったのをありがたいことだと感謝している。そういうやさしい気持ちを反映しているというように解釈したい。

(金田一春彦『やっぱり、日本語にはかなわない』による)

50

- | | |
|----------|---------|
| 1 のわりには | 2 から見ると |
| 3 のことだから | 4 からいえば |

51

- | | |
|--------|---------|
| 1 につれて | 2 をもとに |
| 3 ごとに | 4 にたいして |

52

- | | |
|------------|-----------|
| 1 にさきだっての | 2 がすぎてからの |
| 3 をむかえるときの | 4 になってからの |

53

- | | |
|----------|---------|
| 1 にかけての | 2 について |
| 3 にもとづいて | 4 にかんする |

54

- | | |
|------|------|
| 1 だけ | 2 しか |
| 3 さえ | 4 すら |



読解

問題10 次の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

現在は過去によって支えられている。そして現在の生き方が未来を決定する。現在は過去の結果だが、未来は現在の結果となるのだ。ここからどう生きればよいかがわかる。いまという時間に全力投球するのがベストなのである。現在の自分がどう考え、どう生きるかが未来の自分の姿なのである。ところが、過去の結果である現在の自分にとらわれて、後悔したり、あるいは弱気になったり、そんな人が多すぎる気がする。

(川北義則『人生愉しみの見つけ方』による)

55 筆者が一番言いたいことはどれか。

- 1 人はいまという時間をベストを尽くして最高に生きるべきだ。
- 2 過去にこだわる人が多すぎて残念だ。
- 3 日々変化する今、未来の自分を想像するのは難しい。
- 4 これからどう生きるべきかを考えるのは今しかない。

(2)

戦後日本の経済は、奇跡とも言えるような発展を遂げてきた。それはなぜか。夢があったからである。豊かな暮らしをしたい。アメリカに追いつき、追い越したい。そんな夢があったからこそ、国民全体が一生懸命努力をしたのだ。()日々の食事に困っていたとしても、着るものも満足になかったとしても、常に日本人は明日を夢見ていた。いつか、すばらしい生活ができるようになる。いつか、すばらしい時代がやってくる。その夢があればこそ、貧しいながらも眼の輝きだけは失っていなかったのである。

(江口克彦『上司の哲学』による)

56 文中の()に入る言葉として、正しいのはどれか。

- 1 ところが
- 2 ところで
- 3 たとえ
- 4 たとえば

(3)

実は母親自身も、「きょうはちょっと脈が早い」とか、「頭が痛い」とか、「肩がこった」とか、「最近ちょっと腰痛だけど、背骨がずれているのではないか」とか、しゃっちゅう自



分の健康を気にしている。そして、お母さんの楽しみは、近くによいカイロプラクティック(注)の先生を見つけて通うことであったり、あるいは、どこかの健康教室の話を聞くことである。新聞でも健康欄は欠かさず見ている。

(小此木啓吾『困った人間関係』の精神分析による)

(注)カイロプラクティック：骨を正しく治すこと

57 文章の内容と合っているものはどれか。

- 1 母親は頭痛や腰痛がきっかけで、健康教室に通うようになった。
- 2 母親は背骨がずれていると言って、よくカイロプラクティックのお医者さんに診てもらったりする。
- 3 新聞の健康欄に目を通すのが母親の楽しみである。
- 4 母親は健康を気にしていて、よくお医者さんに診てもらったり、新聞の健康欄などをチェックしたりしている。

(4)

多くの人は自分の財産や名声や地位を得るために全力投球をしている。それなのに、財産やお金よりも大切な、自分のいのちのために全力投球している人は少ない。なぜその大切ないのちのために、時間と財産を提供しないのか、そして安全に確保されたいのちを思い切り有効に使おうとしないのか。自分のいのちを自分で格調高く保つための勉強を、めいめいがもっとしなければならない。

(日野原重明『いのちの言葉』による)

58 筆者が一番言いたいことはどれか。

- 1 財産や名声や地位のために全力を尽くすより、自分の身の安全を確保したほうがいい。
- 2 人は何よりも大切な命をもっと有効に充実に生きるべきだ。
- 3 いのちは一度しかないのだから、もっと格調高い勉強をしたほうがいい。
- 4 自分の時間と財産を大切な命のために投入し、自由に好きなことをやったほうがいい。

(5)

自分の痛みを痛みとして感じ、悲しんだり苦しんだり怒ったりすることは決して悪いことではない。それをどの程度、人に見せるのかはともかく、誰でも心の中ではいろいろな痛みを感じていて当然だ。ところが、人の痛みを痛みとして「認めない」人もいる。C 男さんは、誰かが落ち込んでいるのを見ると、「そのくらいのことで、なんだ」とイラ



イラする。自分のほうがもっとたいへんだ。自分のほうがもっとつらい思いを味わっている。自分のほうがもっと疲れている。それなのに…というわけだ。

(斎藤茂太『なぜか「人の心をつかむ人』の共通点』による)

59 文章の内容と合っているものはどれか。

- 1 自分の痛みは常に人の痛みより重く、切実に感じられるものだ。
- 2 自分の心の痛みを人に見せることによって、ストレスが解消できる。
- 3 自分の痛みを痛みとして感じるのはいいが、同時に人の苦しみも認めるべきだ。
- 4 落ち込んでいる時こそ、人と痛みを分かち合うことを忘れてはならない。

問題11 次の文章を読んで、後の問い合わせに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

現在の子どもたちにとって、より大切なのは協調性を身につけることではないだろうか。周囲の人間と協力して何かをするという能力は生きていくうえで、とても大事であり、①それは少子化が進む現代社会では、意識的に教えなければ身につかないものだからである。

昔であれば、家族に兄弟が多かったので、けんかをしたり仲直りをしたりしながら、何か一つのことについて協力し合うという経験が、自然にできたり、家の外でも、さまざまな年齢の近所の子どもたちと遊ぶ中で、力を合わせて何かをするという機会に数多く出会ったはずだ。

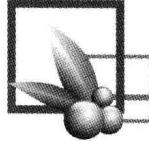
しかし、子どもの数が一人以下の家庭が中心になった現在では、②そのような場がほとんどないのである。近所の子どもが家に来ても、テレビゲームをやっているのでは、協調性など身につくはずがないだろう。

個性の尊重という教育も必要ではあるが、せっかく子どもたちが集まる場があるのであら、学校では、ぜひ子どもに協調性を身につけさせてもらいたいものである。

(アルフレッド アドラー『子どもの教育』による)

60 ①「それ」は何を指すか。

- 1 協調性
- 2 コミュニケーション能力
- 3 生きていく能力
- 4 環境に適応する能力



61 ②「そのような場」とは、どのような場のことか。

- 1 学校の遊びの場
- 2 協力して何かをするというような場
- 3 個性を生かせるような場
- 4 子どもが集まるような場

62 この文章で筆者が最も言いたいことはどれか。

- 1 少子化が進む現在、個性を尊重する教育はとても重要だ。
- 2 協調性を身につけるためには、まず個性を尊重しなければならない。
- 3 子どもにとって、周囲の人々と協力して何かをするという能力は、とても大事である。
- 4 子どもに協調性を身に付けさせるのは学校の責任である。

(2)

十年ほど前に、ある私立大の教養ゼミで、当時盛んだったリゾート開発について話し合った時のことだ。一人の学生が富山から来ていると言うので、私は「富山は海はきれいだし、後ろに北アルプスもあって、とてもいいところじゃないか」と話しかけると、その学生は「でも何も遊ぶものがないんです」と答えた。(中略)

かつて子どもたちは、学校から帰るとカバンを学校に放り出し、夕方まで近所の空き地で遊んだものだ。このごろ家の中でのパソコンゲームなどが主となり、戸外で遊ぶことが少なくなっているらしい。

三年前、二十年ぶりに尾瀬ヶ原を訪れ、年配の女性が多いのに圧倒された。育児や家事から解放された年配の女性が元気に山を歩く姿を、そのときは好ましく感じた。しかし、やはり、若者の自然離れには憂いを覚えざるを得ないのである。

自然を楽しむことが少なくなったのは、子ども、若者だけでなく、その親の世代でも同様であろう。世代を越えた自然離れは、(①)客が減って閉鎖したスキーチャンが出来ることにも現れている。

限りなく続く砂浜、一面の草原、深い森。②そうした場所で、ゆったりとした時間を過ごすことは、思いがけない動植物との出会いもあったりして、貴重な経験になるはずだ。しかし、残念なことに、四季折々、弁当を作つて里山などに遊びに出かけていく家族の姿を見かける機会は、間違いなく減っている。

(朝日新聞夕刊2002年9月18日による)

63 (①)の中に入る言葉として正しいのはどれか。

- 1 やはり
- 2 だから